

仏壇公正競争規約 店頭表示の実際(5)

ぶつだん高橋(和泉府中)

「規約表示以上のメッセージを伝える」



地域ブランド札(徳島産高級仏壇・徳島唐木仏壇) 全国宗教用具名店会などの札も並べ お店の信頼性を伝える



規約準拠の表示の他 商品説明札なども充実させている

ぶつだん高橋(和泉)は自社でワードをベースにしたフォーマットを作り、仏壇公正競争規約に拠る表示を行っている。表示フレームはメーカーが展示会で使用していたものをそのまま利用している。

ぶつだん高橋は十五年以上も前から生産地表示、品質表示の標準化を目指して業界に呼び掛けを行い、様々な取り組みを行ってきたというキャリアを持つ。

「当時は海外での仏壇製造が本格化した頃で、大半の仏壇店が海外製ということも告げずに利益を得ていた時代です。また、メーカーからの情報公開もありませんでした。お客様は安ければそちらの方をお求めになるわけで、このままではいけないと仲間と声をかけて活動を開始したのですが、なかなか浸透しませんでした」と当時のことを振

り返る。

「弊社は元々産地も品質もちゃんと説明してきましたので、仏壇公正競争規約が出来たことでの売り方の大きな変化はありませんが、規約が出来たことで、メーカーサイドがちゃんと表示を行うようになった安心感、商品内容に対しての安心感が確立されたことは大きい」と高橋活成社長は語る。

実際の表示を見ると、「大阪三方金黒檀」の場合、台輪・大戸・戸軸は黒檀厚板貼り、芯材は天然木材、組立・仕上は日

本。この表示札と合わせて「徳島高級仏壇」「スラウエシ産の縞黒檀を使用」「全国宗教用具名店会」などの表示札を合わせて表示している。

「黒檀三方練大阪型」の場合は台輪・大戸・戸軸が黒檀厚板貼り、芯材天然木材、組立は海外、仕上は海外・日本。

「本大阪型特上立」は表面表示の台輪・大戸・戸軸が日本製漆仕上げ、芯材はヒバ、金箔・金粉・金具が日本製、組立は海外、仕上は日本という表示である。

高橋社長は「規約の表



大型金仏壇の展示 大阪型はもちろん姫路型(左)も展示 公正競争規約の表示は下段に置かれている

示だけでは製品の価値全

体が伝わるわけではなく、材料や技法のことなどをお客様に丁寧に伝える

「行きたい」と語る。規約に沿った表示の他、メーカー各社が提供する表示札なども活用し、お客様への情報提供を行っている。

宗教工芸新聞平成25年10月号掲載